

## Ⅱ 事業の概要

### 法人

(理事会機能の充実)

近年、少子化や経済情勢等の影響を受け、私立学校を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。共愛学園ではこのような状況下にあつて、様々な課題に対して主体的、機動的に対応していくため次の事業を行いました。

#### 1 ガバナンスについて

本学園のガバナンスの在り方を探求するための一環として、役員、評議員及び事務局員を対象に次の研修会を実施しました。

- 2013年7月5日(金)研修会を開催し、収益法人の設置(荒居企画室主任)、幼稚園の保育概要(白石園長、金子主任)、高校の教育概要(飽田教頭)についてそれぞれ説明を受け、その後に質疑応答が行われました。
- 2013年11月22日(金)に小学校設置校舎建築に係る研修会を開催しました。講師は首都大学東京大学院建築学域の上野 淳特任教授にお願いし、「学校建築最前線：新しい時代の学校づくり・その課題」と題しての講演から、示唆に富んだ学校建築を学ぶことができました。
- 2014年2月14日(金)に学校マネジメントに係る研修会を開催しました。筑波大学 大学研究センター長の吉武 博通 教授を講師として招き、最新の学校経営の動向や陥りやすい問題や課題について講演をいただきました。

#### 2 実効性のある中期計画の策定

学童クラブから大学まで6部門の財務を中心とした、5ヶ年(2014～2018年度)中期計画書を作成し、2014年1月10日開催の常任理事会及び同年1月28日開催の評議員会へ諮り、審議・承認されました。なお、これまでの財務を中心とした計画を一步進め、基本的に教育計画を含んだ総合計画へと内容を改めると同時に、一部内容についてはPDCAサイクルに基づく検証を行い、理事会及び評議員会へ報告しました。

#### 3 部門ごとの経営会議(委員会)の充実

「中学・高校財政問題検討委員会」、「幼稚園企画運営委員会」、「保育園企画運営委員会」、「学童クラブ企画運営委員会」をそれぞれ月1回開催し機能させています。いずれの委員会も理事長が議長となり、それぞれの部門の役職者と本部事務局職員が委員となって諸課題に対応し、園児・生徒の確保、財政の安定及び施設設備の充実などに一定の成果を上げています。なお、大学の場合には、理事長は事務局長や各課長とともに教授会、企画運営会議、6者連絡会などへ参加しています。

(学園 10 年史編纂委員会の立ち上げ)

共愛学園小史編纂委員会規程が 7 月 19 日開催の理事会において審議のうえ制定されたものの、これに係る会議は開催されませんでした。

(災害に備えての備蓄対策)

2012 年度に備蓄庫を設置して必要最小限の備蓄品を整えましたが、2013 年度はさらに次の備蓄品を補充し充実を図りました。

	品名	数量		品名	数量
1	富士ミネラルウォーター	2,304	9	ヘルメット	10
2	アルファ米 白がゆ	200	10	防災用安全靴	10
3	アルファ米 田舎ごはん	800	11	ロープ	1
4	アルファ米 わかめごはん	300	12	ブルーシート	1
5	アルファ米 ドライカレー	500	13	軍手・タオル	150
6	アルファ米 えびピラフ	500	14	簡易トイレ(100 回分)	5
7	毛布 真空難燃毛布	50	15	防災着	10
8	救助工具セット	1			

(另切 (なたぎり) 薬師西側の用地取得)

另切薬師西側の用地 241 m<sup>2</sup> (73 坪) を地元自治会より取得しました。主に学童クラブの保護者送迎用駐車場として利用しています。

(学園創立 125 周年の広報)

2013 年度は学園創立 125 周年にあたり、群馬県下最古の私立学校としてのアピールを地域社会へ行いました。新聞による広報活動を下記のとおり 6 月から 10 月まで計 5 回にわたって行いました。

- 第 1 回 (6 月 9 日) : 学園の沿革
- 第 2 回 (7 月 9 日) : 前橋国際大学の教育
- 第 3 回 (8 月 11 日) : 幼稚園及び保育園の保育
- 第 4 回 (9 月 8 日) : 中学及び高校の教育
- 第 5 回 (10 月 29 日) : 130 周年へ向けた取組み

(小学校設置)

昨年の 3 月に小学校設置準備室が設けられ準備作業は着実に進捗しています。この準備作業前半の最大の課題であった用地は、本年 5 月 5 日付で登記手続を終了させ 1,0131 m<sup>2</sup> (3,071 坪) を取得することができました。

建築設計事務所の選定は、指名型のプロポーザル方式として 5 者より提案を求め、外部の学識経験者 2 名を含めて選考委員会を組織し選考を行いました。その結果、設計事務所が選定され、その後、この図面に基づくところの基本設計に入り、2013 年度中にはほぼ終わっています。開発行為申請の事前協議・認可を経て 2014 年 9 月から造成工事に入り、建設業者の選定手続を経て 12 月の着工を見込んでいます。

また、2013 年度中に実務者による準備室会議、学園各部門の代表者による準備委員会のほか、専ら教育内容を検討する教育内容作業部会を設けて、第 1 次審査となる 2014 年 9 月の事業計画書提出に向けて小学校設置の作業にあたっています。

(小学校設置の募金)

2013 年 7 月に学園と外郭 6 団体によって構成した 130 周年記念事業募金委員会が立ち上げられ、小学校設置を含む募金目標額として 2 億円を設定しました。募金趣意書等を作成して 11 月より本格的に募金活動を開始し、2013 年度中に 329 件の 25,628 千円（達成率 12.8%）の実績を上げることができました。

各団体等の分担目標額は次のとおりです。

(単位：千円)

	団体区分		目標額
1	学園同窓会	中高同窓会	30,000
2	中高ベタニア会	保護者会	40,000
3	賛助会		20,000
4	大学グレープバイン	大学同窓会	30,000
5	大学シオン会	大学保護者会	30,000
6	幼稚園オリブの会	幼稚園保護者会	2,000
7	一般（教会、保育園保護者、学童 クラブ保護者、一般）		3,000
8	現役員・教職員		10,000
9	旧役員・教職員		5,000
10	学園バザーより		15,000
11	小学校保護者会		15,000
	計		200,000

# 大 学

## (入学の状況)

特待生制度や奨学金の充実、広報活動、募集活動の積極的な展開などにより、定員以上の学生を確保することができました。

2013年度 コース別入学概況（入学定員 225 名、編入学定員 5 名）

	国際社会専攻				地域児童 教育専攻	計
	英 語	国 際	情報経営	人間文化		
応募者	189 (2) 名	93(1) 名	123 (1)名	84 (2) 名	119(0) 名	608(6) 名
合格者	124 (1)	58(1)	75 (1)	61 (1)	75(0)	393(4)
入学者	80 (1)	37(1)	67 (1)	47 (1)	39(0)	270(4)

( ) 内数値は編入学の内数

## (専任教員人事)

2012 年度末に准教授 1 名（英語）が退任し、2013 年度より准教授 1 名（宗教）、講師 1 名（英語）を新規採用しました。この結果、専任教員は 1 名増の 32 名体制となりました。

## (専任職員人事)

嘱託職員 1 名の増員はありましたが、専任職員の就退任はなく前年度に同じ 21 名体制となりました。

## (グローバル人材育成推進事業（以下「GGJ」）)

2012 年度に文部科学省より採択された GGJ 事業の 2 年目となる本年度は、前年度より準備を進めていた教育プログラム、留学研修プログラムが本格稼働の年となりました。具体的には、Global Career Training 副専攻の開設、伊勢崎市教育委員会様・サンデン株式会社様と連携した海外インターンシップ、伊勢崎市児童向けのワークショップ、タイでの課題解決型研修等のグローバルプロジェクトワークの開始、海外講師との 1 対 1 オンライン語学レッスンの開始等です。特に副専攻においては、本学初となる 6 限（18 時開始）の授業であり、かつ英語のみで社会人と共に学ぶ社会人基礎力、異文化理解という Global Skills 科目群が特徴的であります。

また、年度末には対外活動の一環として、グローバル人材育成推進シンポジウムを実施しました。

## (資格特待生を含む奨学金制度)

資格特待生を含む新しい奨学金制度へ 2012 年度から移行しました。その新制度の基本的な概要は、資格特待生の適用は 1 年次のみ限定され、資格特待の学年進行継続廃止に伴って生じる原資を基に、新たに「ともさくら奨学金」、「ワークスタディ奨学金」、「コース奨学金」などの奨学金制度を設けたことあります。

移行して 2 年目の 2013 年度については、1・2 年生は新制度の資格特待制度が適用され、3・4 年生には旧制度が適用されました。資格特待生への奨学金の支給額は確実に縮小傾向にありますが、その他の奨学金への充実を推進しています。

年度別の資格特待生と奨学金（参考）

（単位：千円）

年 度	資格特待生	他の奨学金	計	記 事
2011 年度決算	173,250	17,040	190,290	
2012 年度決算	160,850	25,810	186,660	新制度へ移行
2013 年度決算	146,940	30,920	177,870	
2014 年度予算	97,440	48,080	145,520	

なお、資格特待の学年進行に伴って生じる原資を基に、新設された奨学金制度は次のとおりです。

- a. 共愛学園ともさくら奨学金：経済的困難な学生を支援
- b. 学業奨励奨学金：各コースの成績最上位者に対する奨学金（原則 20 名）
- c. コース学業奨学金：各コースの成績優秀者に対する奨学金
- d. ワークスタディ奨学金：2 年生以上が対象で学内勤労に対する奨学金
- e. インターンシップ奨学金：学内で専門的業務に従事することで得られる奨学金
- f. プロジェクト支援奨学金：優秀なプロジェクトに対する奨学金
- g. その他これまでの奨学金の継続と内容の一部変更

（地域貢献）

2008 年度に設立された地域共生研究センターを核として、地域との共生（連携）を推進するため幅広い活動を行っています。

2013 年度中の同センターの活動実績は次のとおりです。

【主催・共催事業】

- ・まえばし・きょうあい子育てひろば「思春期の子を持つ親のための子育て講座」  
（永明公民館、木瀬中共催）
- ・「きょうあい子育てひろば」を企画立案し、3 シリーズの他、託児養成講座を実施。
- ・「しぶかわ子育てひろば」（渋川市保健福祉部こども課共催）ファースト・セカンド 各 1 回
- ・まえばし・きょうあい子育てひろば「思春期の子を持つ親のための子育て講座」  
（永明公民館、木瀬中共催）
- ・群馬現代史研究会主催
- ・生涯学習講座
- ・放課後イングリッシュ（NPO 教育支援協会共催）
- ・やさしい陶芸教室 講師 本多 正直（本学教授）
- ・地域づくり講座「わが郷土を知る」（永明公民館共催）
- ・子育て支援ボランティア（永明公民館共催）
- ・「共生の教育」公開授業
- ・「ジェンダー論」公開授業
- ・教科書にのっていない世界の授業（神田外語大学共催）
- ・教えて！「ゆとり教育」って何？講演会（ななめ N プロジェクト、NPO 教育支援協会共催）
- ・公開講座

第 26 回の本学の公開講座が 2013 年 11 月～12 月の土曜日 3 日間にわたって開催されました。講座のテーマは「群馬の新島襄」であり、受講申込み者は約 100 名でした。

2013 年度に開催した公開講座は以下のとおりです

開催日	講座名	担当者
11月9日(土)	「八重と群馬 ～私らしく生きる人生を紐解きながら～」	新島学園短期大学 宗教主任・准教授 山下 智子
11月30日(土)	「ハンサムに生きた新島襄・八重～美德、もって飾りとなせ～」	元同志社大学 神学部 教授 本井 康博
12月7日(土)	「共愛学園の歴史と新島襄」	元本学教授/同大地域共生研究センター顧問 宮崎 俊弥

**【地域連携事業】**

○ 委員等派遣

- ・ 前橋市公立大学法人評価委員、群馬県男女共同参画推進委員など多数自治体等の委員として教職員を派遣しました。

○ 講師等派遣

- ・ New Education Expo 2013、群馬県立伊勢崎商業高校高大連携講演会などに多数教職員を派遣しました。

○ 共同研究等

- ・ 本学共同研究費により「群馬現代史研究会」が発足、活発に活動し5年目を迎え、5周年記念講演会を開催しました。

○ 共催事業

- ・ 自治体、公民館、社会教育施設、町内会、地域団体等々との共催事業を展開し、各団体との連携を深めています。

**【ボランティア派遣事業】**

前橋市内小中学校、伊勢崎市内小中学校、群馬県青少年会館などへ学生ボランティア等を派遣しています。

(施設・設備等の充実)

① 2号館と3号館をつなぐ渡り廊下建設

これまで2号館と3号館を結ぶ施設がなく、雨が降ったときなどには不便をきたしていたことから、屋根つきの2階建て渡り廊下を建設しました。

② 1号館4階の男女トイレ改修工事

年次計画に基づいて1号館4階の男女トイレ改修工事を行いました。

③ 3号館の空調機入れ替え工事

エコキャンパス推進事業補助金を受けて、3号館の空調機入れ替え工事（室外機・室内空調機）並びに太陽光発電設備工事を行いました。

④ 情報機器と設備備品の充実

教育研究活性化設備整備費補助金を受けて、各教室の情報機器と音響設備備品、図書館什器の整備・充実を図ることができました。

⑤ 学生駐車場ゲートの整備

学生駐車場の入口が変更になったことに伴い、学生駐車場ゲートを新しく入れ替えました。

(借用地の一部取得)

前橋市からの借用地（グラウンド）一部 1,500 m<sup>2</sup>（455 坪）を 3,195 万円で取得しました。これにより前橋市からの借用地は残り 2,769 m<sup>2</sup>（839 坪）となり、現在の鑑定価格で試算すると約 5,898 万円となります。

(進路の状況)

- ・ 2013 年度卒業生の進路状況は次のとおりです。

就職者	217 名
就職未定者	6
その他	43
進学者	4
計	270

就職率 97.3% (217/223)

- ・ 就職者の業種別進路と主な企業は次のとおりです。

業種	人数	業種	人数
サービス業	84	自営業	1
出版・印刷業	3	商社	10
官公庁	7	情報通信業	17
教職員	19	製造業	18
金融業	4	流通・小売業	43
建設業	11	計	217 名

## 高校

(人事について)

退職、休職等

- ・2012年度末延長定年退職教諭1名
- ・2013年度中専任講師各2名の産休、育休取得
- ・2012年度末非常勤講師4名退職
- ・学生寮栄養士1名退職（後任補充せず。）

採用、復職等

- ・教諭1名年度途中の育休からの復職
- ・非常勤講師1名の専任講師への任用替え

・教員

年度	専任教諭	専任講師	左の計	非常勤講師
2009	43	15	59	23
2010	46	12	59	24
2011	46	15	61	24
2012	45	15	60	20
2013	44	15	59	22

・職員

年度	専任職員	パート職員	学寮職員	計
2009	6	0	4	10
2010	6	1	4	11
2011	6	1	4	11
2012	7	0	4	11
2013	7	0	3	10

(生徒確保と入学の状況)

共愛学園中学校からの内部進学者が77名と少なかったですが、昨年度に比べ応募者が170名程増加したこともあり、386名の新入生を確保することができました。

入学概況（入学定員360名）

	普通科		英語科		計
	特進コース	進学コース	特進コース	進学コース	
定員	230名		130名		360名
応募者	1133 (37)		307 (40)		1440 (77)
合格者	264 (6)	744 (31)	123 (8)	168 (32)	1299 (77)
入学者	32 (6)	239 (31)	26 (8)	89 (32)	<b>386</b> (77)

※ カッコ内は共愛中学出身者の内数。



(特別奨学生制度の充実)

すべての入試に特別奨学生制度が適用されることを周知し、学業優秀者・スポーツ等優秀者の両面から意欲のある生徒を確保し、より活力のある学校づくりを目指しました。

特別奨学生は定期的（学年末）に学業成績や部活動の様子など継続審査が行われ、年度の途中や年度末に資格を失う場合もあります。

奨学生の内容は次のとおりです。

- ・ 特別奨学生S — 入学時の入学金・施設費及び毎月の授業料・施設維持費を全額免除
- ・ 特別奨学生A — 入学時の入学金と毎月の授業料を全額免除
- ・ 特別奨学生B — 入学時の入学金と毎月の授業料を半額免除。
- ・ 特別奨学生C — 入学金及び授業料の半額を免除
- ・ 特別奨学生D — 入学金の半額を免除

過去5年間の特別奨学生（特待生）の入学実績は下記のとおりです。

年度	特別奨学生S		特別奨学生A		特別奨学生B		特別奨学生C		特別奨学生D		計
	学業	スポーツ等	学業	スポーツ等	学業	スポーツ等	学業	スポーツ等	学業	スポーツ等	
2009	0	0	5	11	10	13					39
2010	0	0	5	12	3	—	5	18		—	43
2011	0	0	6	12	4	—	7	13		—	42
2012	0	0	8	4	4	—	9	7	4	—	36
2013	0	0	6	9	2	—	7	8	0	—	32

※ 2010年度より学業特別奨学生はSからDまで、スポーツ等特別奨学生はAまたはCのランク付けとしています。

(進路の状況)

昨年度と比較すると4年生大学への進学者が12ポイント上昇し、専門学校への進学者が約11ポイント減少しました。

今後も、国公立大学や難関私立大学への合格者数を増やすことが、中高生徒の確保に繋がると考え、より一層学習指導や進学指導に力を入れていきます。

2013年度の進路状況は以下のとおりです。

区分	人数	区分	人数
大学	213名 (62%)	留学予定	8
短大	29(8%)	就職	10
専門学校	76(22%)	浪人・その他	9
		計	345

(施設・設備の充実)

● 図書館ネットワーク構成の変更工事

図書館ネットワークの構成機器を更新した他、将来的拡張を視野に入れ図書館と隣接する施設も既設のネットワーク配線を活用しながら、新たに光ケーブル及び UTP ケーブルを敷設し、ネットワークの品質の向上並びに、メンテナンスやセキュリティ両面の強化を図りました。(116 万円)

● コンピュータ教室 1 PC 機材等の更新

私立大学等研究設備整備費補助金（私立高等学校等 IT 教育設備整備推進事業費）を活用し、コンピュータ教室 1 のパソコン 25 台、サーバー 1 台を更新しました。(860 万円)

● プログラムチャイムシステムの導入

校内放送設備は、中学・高校では必須の機器であるため、様々な機能を有した自動放送機能付プログラムチャイムシステムを導入しました。

システムの導入により、生徒への朝学習開始のアナウンス、放課後の帰宅を促すアナウンス、定期試験開始時の諸注意のアナウンス等、定型的なアナウンスを自動で流すことが可能となりました。(約 100 万円)

## 中 学

(人事について)

退職、任用替え等

- ・2013年度中外国人教師1名退職
- ・2013年度より本人の希望により専任講師から非常勤講師への任用替え
- ・2012年度末非常勤講師1名退職

採用等

- ・2013年度中外国人教師1名採用
- ・非常勤講師1名の専任講師への任用替え
- ・非常勤講師1名採用

・教員

年度	専任教諭	専任講師	助教諭	左の計	非常勤講師
2009	9	4	1	14	6
2010	7	6	1	14	6
2011	7	6	1	14	8
2012	7	6	1	14	11
2013	9	4	1	14	9

(入学の状況)

伊勢崎、高崎、太田、桐生における校外入試説明会に加え、本校を会場とした前橋地区説明会を新たに開催したほか、夏期休暇中に中学校職員による受験生の取り込みに向けた小学校訪問を行った結果、入学定員100名を上回る105名の入学者を確保することができました。

入学概況（入学定員100名）

	第1回入試		第2回	第3回	計
	推薦	一般	一般	一般	
応募者	61	83	55	13	218
合格者	59	40	12	3	114
入学者	59	34	9	3	105

(進路の状況)

卒業者数 105 名中、共愛学園高校へ内部進学した生徒は 87 名、他校へ進学した生徒は過去最多の 18 名となりました。

年 度	卒業者数	内部進 学者数	外部進学者数						計
			県内 公立	県内 私立	県外 公立	県外 私立	海外 留学	その他	
2009	102	87	1	8	0	5	0	1	15
2010	90	79	5	0	0	5	0	1	11
2011	83	69	8	2	0	3	1	0	14
2012	87	77	6	0	1	1	2	0	10
2013	105	87	10	4	0	2	2	0	18

## 幼稚園

### (教員の増員)

常勤講師 2 名のうち、1 名は非常勤講師へ任用替え、1 名は退職となりました。1 名を新採用したため、常勤の教員は 7 名から 6 名体制（園長含む）になりました。

### (園児募集)

園児募集を強化するためホームページを中心に広報関係の強化を図りました。

年度当初の入園児及び園児数は次のとおりです。

	入園児	在園児
3 歳児	26 名	26 名
4 歳児	0	29
5 歳児	2	32
	30	87

※満 3 歳児を除く

### (課外活動)

昨年度に引き続き課外活動を実施しました。

申込者等の概要は次のとおりです。

	英会話 クラブ	絵画造形 クラブ	サッカー・ 体操教室	児童英語 クラブ	くるみクラブ
申込者数	全園児対象	22 名	89 名	24 名	691 名（延べ人数）
講 師	本大学学生	本大学教員	本大学学生	本大学教員 ・学生	石田・高田・菊池
開催日数	16 日	3 日	30 日	6 日	42 日

※体操教室は 2009 年度より開始

### (施設・設備の充実)

前年度に実施できなかったプール周り及び外回廊スノコの一部を、腐食することのない樹脂性スノコに入れ替えました。

## 木瀬保育園

(職員数)

年度	園長	保育士	栄養士	調理員	看護師	事務員	計
2011	1	19	1	2	3	0	26
2012	1	21	1	2	3	1	29
2013	1	24	1	3	3	1	33

※ 保育士 3 名、調理員 1 名の計 4 名増

(園児数)

	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	計
定員	15	18	22	25	25	25	130
実員	6	23	22	28	29	28	136

(保育)

キリスト教主義保育を本格的に取り組める環境が整い、子どもたちと共に原則週 1 回の礼拝を守るようになりました。

(施設整備)

ほし組の空調機入れ替え工事並びに、うさぎ小屋の改修工事を行いました。

## 学童保育クラブ

### (児童の確保)

2013 年度は開所して3年目にあたります。人材や施設など総合学園として共愛学園の特色を活かした保育活動を展開し、地域社会から評価が得られ、児童は順調に確保されています。

	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度
児童数	17 名	25 名	33 名	37 名

### (総合グラウンド管理棟からの移転)

当初より総合グラウンド管理棟において暫定的に保育を行っていましたが、大学の西南隣接地に民家（土地 155 坪、家屋 50 坪）を取得でき、本年度よりこの場所に移転しました。

### (施設整備)

移転に伴い空調機を新たに設置したほか、取得した駐車場用地（岩切薬師西側）の造成工事、パルスコーン設置工事を行いました。